



九州支社
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

九州協建

「多様性」に焦点 新委員会

4月の活動開始目指す

建設コンサルタント協会九州支部（穂山泰治支部長）は、総務・企画部会内の女性技術者委員会と若手技術者委員会を統合した新たな委員会を設置する。両委員会の設立

女性技術者の比率向上が期待される。新卒採用者数も25年度は約1500人と、20年度の1000人未満から増加傾向にある。

一方、定年退職を除く退職者数は20年度の約1400人から24年度の約2200人と増加している。担い手不足が喫緊の課題であることに変わりなく、シニア層の増加やグローバル化に向けた海外人材の採用などへの対応が求められている。

木村有花女性技術者委員長は、10月28日の女性技術者交流会で「当委員会は今年度で活動を終え、多様性を考える委員会に生まれ変わる」と報告。これまでの活動への協力に感謝を述べた。

同時に比べて女性や若手技術者が増え、外国人労働者の入職をはじめとした人材の多様化を背景に、多様性に焦点を当てた活動を展開する。12月の総務・企画部会で活動内容や名称を協議し、2026年1月の定例支部役員会の承認、26年4月の活動開始を目指す。

これらの課題解決に向け、女性・若手技術者委員会の合同ワーキンググループで今後の在り方を検討し、新委員会の設立を決めた。新委員会では「多様性」や「共創」をテ

マに若手や女性に加え、外国人やシニア技術者、障がい者といった多くの人が働きやすい職場づくりに向けた活動・提案を行う。女性・若手技

術者委員会が実施してきた活動は新委員会が引き継ぐ方針だ。女性技術者委員会は、16年度に交流会として設立後、17年度から正式に委員会として活動を始めた。会員企業の社員らによる女性技術者交流会などを実施している。若手技術者委員会は18年度に設立し、シヨブカフェや大学出前講座、若手技術者交流会などに取り組んでいる。

25年4月時点で、協会企業内の女性技術者が占める割合は17・4%。このうち20-30代が約60%を占め、将来的な

女性技術者の比率向上が期待される。新卒採用者数も25年度は約1500人と、20年度の1000人未満から増加傾向にある。

一方、定年退職を除く退職者数は20年度の約1400人から24年度の約2200人と増加している。担い手不足が喫緊の課題であることに変わりなく、シニア層の増加やグローバル化に向けた海外人材の採用などへの対応が求められている。

木村有花女性技術者委員長は、10月28日の女性技術者交流会で「当委員会は今年度で活動を終え、多様性を考える委員会に生まれ変わる」と報告。これまでの活動への協力に感謝を述べた。